

3-1-④ 類似規模自治体中央図書館の施設規模比較

人口規模が類似する図書館政策先進自治体の運営する中央図書館の規模を比較してみます。財政指標、年間総貸出冊数、貸出密度、開架冊数規模を併記しています。

『日本の図書館2020』は、令和3年(2021年)秋に日本図書館協会から出版された最新の統計書です。舞鶴市と同じ、人口6万人以上10万人未満の432都市の図書館政策と状況を俯瞰します。年間総貸出数が50万冊を超えるのは42館ですが、これらとサービス地域が舞鶴市のように広く近年整備された中央図書館の参考例を、以下に8館を例示比較しています。年間貸出し総数が120万冊超えをトップに順に並べ、財政指標も併記しました。

舞鶴市の基本計画(3700m² + 300m² 案)と現況数値を比較してゆきます。

(令和2年)

図書館名	人口(万人) <財政指標>	総貸出冊数 (万冊)	貸出密度 (冊/人・年)	開架冊数 (図書のみ/万冊)	中央館面積 (m ²)
①茨城県守谷市 守谷中央図書館	6.8万人 <1.00>	120.5万冊	※市民1人あたり 年間貸出冊数 17.7冊/人・年	14.9万冊	3,523 m ²
②滋賀県守山市 守山市立図書館	8.3万人 <0.86>	100.1万冊	12.1冊/人・年	20.7万冊	4,169 m ²
③福岡県福津市 福津市立図書館 総合文化センター	6.5万人 <0.57>	70.2万冊	10.8冊/人・年	10.1万冊 5.1万冊	2,761 m ² 1,325 m ² 計:4,086m ²
④長野県塩尻市 塩尻市立図書館 (えんぱーく市民交流センター)	6.7万人 <0.66>	66.2万冊	9.9冊/人・年	20.1万冊	集合部分を含む 施設全体面積 11,890 m ² 図書館面積 3,286 m ²
⑤千葉県君津市 君津市立中央図書館	8.5万人 <1.02>	63.8万冊	7.5冊/人・年	開架:22.5万冊 準開架:16.0万冊 38.5万冊	4,896 m ²
⑥愛知県みよし市 みよし市立中央図書館	6.1万人 <1.50>	66.1万冊	10.8冊/人・年	27.7万冊	3,807 m ²
⑦愛知県田原市 田原市中央図書館	6.3万人 <1.09>	56.7万冊	9.0冊/人・年	31.3万冊	3,972 m ²
⑧福島県南相馬市 南相馬市立中央図書館 (市民情報交流センター)	東日本大震災で 人口減少と貸出 数伸長が停滞 6.1万人 <0.67>	36.8万冊	6.0冊/人・年	開架:18.0万冊 準開架:10.6万冊 28.6万冊	情報交流を含む 施設全体面積 5,398 m ² 図書館面積 3,546 m ²
将来の 舞鶴市中央図書館	7.8万人 <0.70>	78.0万冊	10.0冊/人・年	計画 開架:17.0万冊 準開架:10.0万冊 27.0万冊	4,000 m ² 図書館 3700m ² 市民交流 300m ²
現況の 舞鶴市立東図書館 舞鶴市立西図書館	8.3万人 <0.70>	32.7万冊	3.7冊/人・年	8.4万冊 7.3万冊 計:15.7万冊	1,014 m ² 919 m ² 計:1,933 m ²

出典：日本の図書館2020(令和2年度)

3-1-⑤ 新中央図書館施設の計画でめざすもの

新中央図書館の候補地は西舞鶴駅東口隣接地、都市計画法用途は第二種住居地域で建蔽率60%、容積率200%です。舞鶴市玄関駅前の顔となり、穏やかな周辺住宅地環境に調和した建築の表情が求められています。

施設建築の整備にあたり、以下5つの方針を設計段階での検討要素として申し送ります。

□環境・みどりにやさしい建築。

自然エネルギーを活用し、省エネルギーな建築環境をめざす。

- 舞鶴市玄関駅の顔となる環境づくりから、緑や景観に配慮し、敷地や施設の緑化、低層建築化、駅前広場との連続性など、緑に溶け込む環境型建築を目指します。
- 舞鶴市施策であるSDGs持続可能な開発目標に基づき、建築・環境計画を行います。照明・空調設備等において省エネルギー対策に取組み、エネルギー需要の低減を図ると共に、立地状況等を踏まえた再生可能エネルギー・未利用エネルギーの導入、地域伏流水の涵養などについても、設計段階で検討を行います。

□バリアフリーでユニバーサルデザインが行き渡る建築をめざす。

- 近年バリアフリー法制定により、京都府下でも、「建築物バリアフリー条例」や「福祉のまちづくり条例」が施行されています。これらの趣旨や基準にもとづいて、円滑で安全な移動が担保できる建築をめざします。
- 舞鶴地域の気候的な特色である、降雪や積雪、秋の突発的な強い時雨などについても、施設利用や運営を支える施設的工夫と実現が望されます。
- いかなる状況やハンディキャップを持つ人にとっても、図書館はその生活を支える機関ですから、ユニバーサルデザインが行き渡る施設のしつらえをめざします。

□建築物の耐用性も利用しやすさからも、長寿命な建築をめざす。

- 大勢の市民が永くにわたり利用する公共施設ですから、当然の条件として建築は堅牢で、災害に強く、時間と共に魅力を増すものでありたい。これらは、建築を構成する材料の耐候性や、建築工事での施工の堅実性、適正な維持管理しやすさなど物理的な要件が第一に達成されて、長寿命な建築に近づくことになります。
- 利用しやすく、多様な用途にも不満を持たれないことが長寿命の条件となります。
- さらに、この建築が市民利用者の共感や愛情を得るものであるかもその要件になります。施設に足りない要素が生じた時、維持改修か建替えかの判断が建築の寿命を決めることになります。
- 超長期的な確立の洪水浸水に対して、資料や電気系設備配置などの研究が必要です。

□使い方進化に対応できるフレキシビリティのある建築をめざす。

- 図書館基本計画に記された建築の仕様（環境としての質や収容すべき量）が条件となって、無駄のない合目的な施設が設計と事業の目的となり、造られます。
- 多くの図書館が50年を経ず改築されます。この理由は、時代変化の要求に合わないことによります。書庫の満杯化が、表側の開架室や事務室の混乱、本の廃棄を導きもします。米国の図書館で、小さなコーナーで始まったYA部門が、子ども開架と同規模の青少年部門に成熟し拡大した、という事例もあります。部門の大きさも状況や要求で変化していく先例です。
- 図書館にとって、部屋や棚の増築性や可変性を計画で踏まえておくことは、100年先を行く米国の図書館と建築に学んだ日本の図書館建築計画学の骨格でした。

□建設の経済性だけでなくLCCの低減に配慮した建築をめざす。

- 建設時のイニシャルコストの低減については、建築材料や工費の圧縮ばかり強調されると、長寿命性や建築の質との引き替えが起こる要因ともなり、コスト設計のバランスが重要であるといわれます。また、発注分離方式の工夫など建設費低減の試みが各地で行われています。
- 運営段階のランニングコストは、自然エネルギー利用など経費低減の工夫が各地で実践されていて、施設長寿命化のための適正な中長期管理計画の立案と実行も有効となります。
- 図書館施策では歳費の70～75%が人件費であるといわれ、より少人数のコンパクト運営ができる施設実現が、総合的なLCCには重要で、設計の専門性が問われます。

※設計にあたって
検討と対応が求められる
法律や条例

(法律)
・省エネ法
(エネルギーの使用の合理化等に関する法律)

(京都府)
・環境を守り育てる条例

(京都府)
・福祉のまちづくり条例

※雪や雨に対する庇回廊や雁木が伝統的な建築の工夫として知られる。

※冬季の屋外利用が難しい北欧ではウインターガーデンを備えた図書館もあり、日本でも寒冷地図書館では、床暖ウインターテラスの事例も見られる。

※施設建築の寿命は、100年を目指すと言わながら建替えが早い。維持改修不可能な施設の老朽化より先に、新構造基準の不適合や、収容力や機能に対応出来ない状況が散見される。専門施設では、これらを踏まえた建築計画が重要と言われるのである。

※舞鶴市洪水ゾートマップでは1000年確率で、0.5～1m、1～3m浸水箇所が敷地内や市街地に存在することを示している。本計画においても設備や資料配置に対応研究が求められる。

※建築のフレキシビリティとは、時代が代わり利用要求の変化に対応できる可変性や融通性、収容力を追加できる成長性増築性を差している。しかし、計画無く大きく部屋をつくり可動間仕切りで分割するアイデアは、コスト上昇と利用上の不評が各地での結果である。

※LCC:ライフサイクルコストとは、建設から維持管理、撤去処分に係る建築の総コストで、それぞれの場面でのコスト管理が問われるところである。

※駅前市民施設として、夜間開館など他の公共施設を超える開館時間は運営コスト増大につながる。運営計画確定がLCC試算に関係する。

※政策経費としてLCCを考えると、コンパクトな運営体制を可能にする、専門的な図書館施設計画は重要な点になる。

3-2-① 新中央図書館に相応しい敷地をさがす

□新中央図書館に相応しい敷地を考える

全ての舞鶴市民にとって「専門性が高く資料情報の奥行きが深い中央図書館が欲しい」という要望が広がります。また、福知山市や宮津市の前例を引くまでもなく「行きやすい中心市街地の駅前」などで、車利用や公共交通との連携が担保された敷地であるべきです。

このような視点で、はじめに全市的な都市計画から中央図書館が置かれるべき適地を、以下のように考え、方針を絞り込んでいます。

1. 舞鶴市の都市計画「まちづくり基本方針」から考える

(1) 「舞鶴市都市計画マスタープラン」では、

→ 舞鶴版コンパクトシティ + ネットワークの形成を目指しています。

方針① 市全体の核となる「まちなか」の形成として、

『舞鶴市立地適性化計画』では

→ 都市機能が集約されたJR東西の駅をあたかも一つの拠点のように機能する「まちなかの再構築を図る」を方針としています。

方針② 将来人口と地域特性に見合った地域づくりとしては、

『市街化調整区域への編入』『用途地域の大幅な見直し』が行われました。

方針③ 地域間の分担と連携としては、

『公共交通の充実』が方針として書かれています。

(2) 「舞鶴市立地適正化計画」では、

→ 駅を中心とした区域を「都市機能誘導区域」として設定して、あらたな都市機能を、積極的に誘導することとしています。

→ 「中央図書館は【都市機能誘導区域】への立地を原則とする」と読み取れます。

2. 東地区及び西地区の「都市機能誘導区域」から探す

(1) 都市機能誘導区域内に候補地を探す場合の要件・必要条件としては、

要件① 充分な敷地面積があること（延べ面積4000m²程度が建築可能であること）

要件② 公共用地が望ましいこと（事業費の削減、事業スケジュールの明確化のため）

(2) 2つの要件を満たした候補地となりうるのは、

① 東地区では、「東舞鶴駅南公園」

・駅乗降者数(H29年) 56.1万人 ・高校生駅利用：東舞鶴高 32名

② 西地区では、「西舞鶴駅東口土地開発公社所有地」

・駅乗降者数(H29年) 68.6万人 ・高校生駅利用：西舞鶴高 302名

日星高 103名

3. 東舞鶴駅南口候補地にかかる考察

◎都市計画マスタープラン、立地適正化計画における位置づけにかなう。

○公共交通結節点であり、5市2町広域連携にかなう敷地

△中央図書館施設や駐車場配置の融通性からは、敷地面積がやや窮屈。

△区画整理で生み出された公園で利用が高く、公園の代替えが難しい。

△地域の公園コミュニティ空間を廃することに、地域の合意形成が難しい。

△都市公園の計画変更、都市公園内の図書館建設、ともに法的課題が大きい。

4. 西舞鶴駅東口候補地にかかる考察

◎都市計画マスタープラン、立地適正化計画でのふさわしい敷地の位置づけにかなう。

○西駅西口広場整備と相乗し、舞鶴市の玄関口として相応しいまちづくりに効果がある。

○西地区のみならず舞鶴市全体の都市イメージ向上につながり、充分な敷地広さを持つ。

○複数の公共交通結節点で、5市2町広域連携にかなうアクセス性が高い敷地である。

○西駅に付帯する交流センターの更なる利活用にも、プラスの相乗効果が見込める。

○西駅の利用者は東駅よりも多く、高校生が多いことも、活気の創出が期待できる。

○西駅東口の未利用地は、これまで民間参入による都市機能集積が見込まれなかつたが、

この、公共的かつ都市的機能誘致は、舞鶴市全体の活性化の絶好な機会になる。

- 両敷地の定性的な評価考察に加えて、同スケールの敷地図をベースを用いて、中央図書館と駐車場の配置などをかさねて、敷地特性を右ページで確認しています。

3-2-② 東舞鶴駅、西舞鶴駅の隣接候補地 適正比較

□ 中央図書館候補地の適性を、再度図上で確認する

ふたつの候補地を図上比較して、以下のことことが確認できました。

- ① 市民利用の利便性、交通移動結節点として、双方に適地性がある。
- ② 図書館中央館機能/施設配置の融通性として、東候補地はやや窮屈にみえる。
- ③ 具体化可能性、市民合意形成からは、東候補地に課題と疑問ありそうである。

市民生活や都市計画の視点からは、都心循環バスの現状での利便性評価や車利用型社会生活を考えると、東西候補地に甲乙を付けがたい。現状図書館の解決すべき課題は、中心市街地と郊外居住地のサービス格差であり、中央図書館を公共交通結節点や幹線系道路沿への配置や、バス路線の改変が行われれば、双方ともに方針に適うと思われます。

しかし、敷地使い融通性からは、西候補地の優位性が確認できます。

● 東駅隣接候補地に想像される課題や疑問とは、

- 区画整理で創出した都市施設を施設用地化する手続き、合意形成。
(都市公園内に図書館は法的に建築可能だが公園建蔽率では実現不可)
- 現状は地域の有効な広場空地であり、コミュニティの利用が盛ん。
(周辺に地域コミュニティが使えるような代替え移転公園環境が無い)
- 洪水ゾーンマップでは、1000年確率で0.5~1.0mの可能性。

● 西駅隣接候補地に想像される今後の確認事項は、

- 充分な図書館1階面積と駐車場台数を、設計でとることができる。
- 城下町歴史区域としての調査。操車場跡地としての安全確認調査。
- 河川堆積地の支持地盤層、流動化、地下水位、洪水調整基準の確認。
- 洪水ゾーンマップでは、1000年確率で0.5~1.0m、1~3mの可能性。

□ 東舞鶴駅/南口の都市公園を候補地と考えた場合

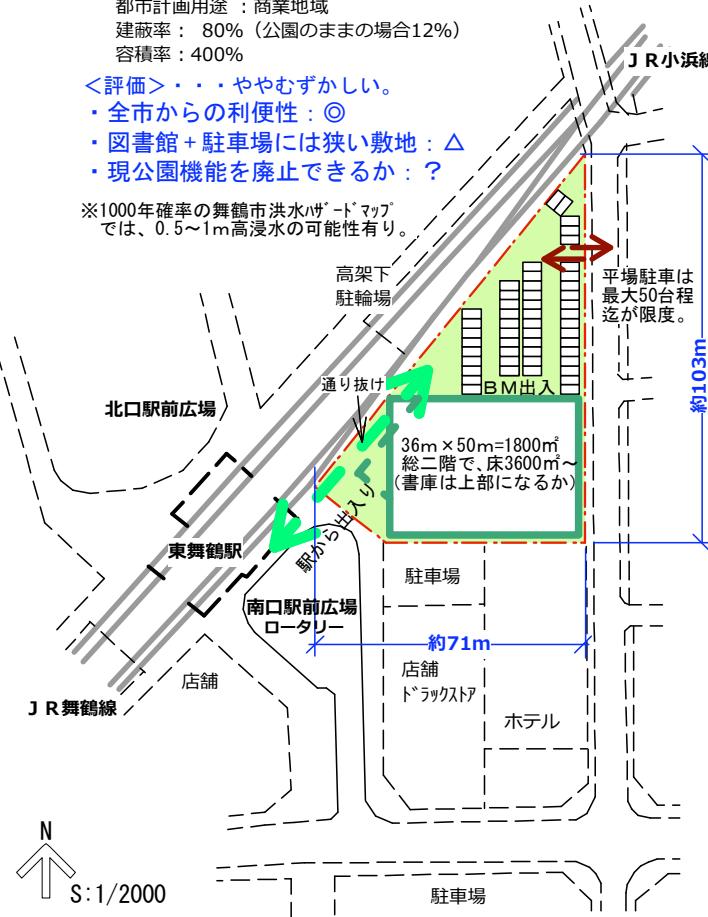
・現況都市公園面積：約4,200m²

- ・法規制/建築条件：都市公園(都市計画施設)
都市計画用途：商業地域
建蔽率：80%（公園のままの場合12%）
容積率：400%

<評価>・・・ややむずかしい。

- ・全市からの利便性：◎
- ・図書館+駐車場には狭い敷地：△
- ・現公園機能を廃止できるか：？

*1000年確率の舞鶴市洪水ゾーンマップでは、0.5~1m高浸水の可能性有り。



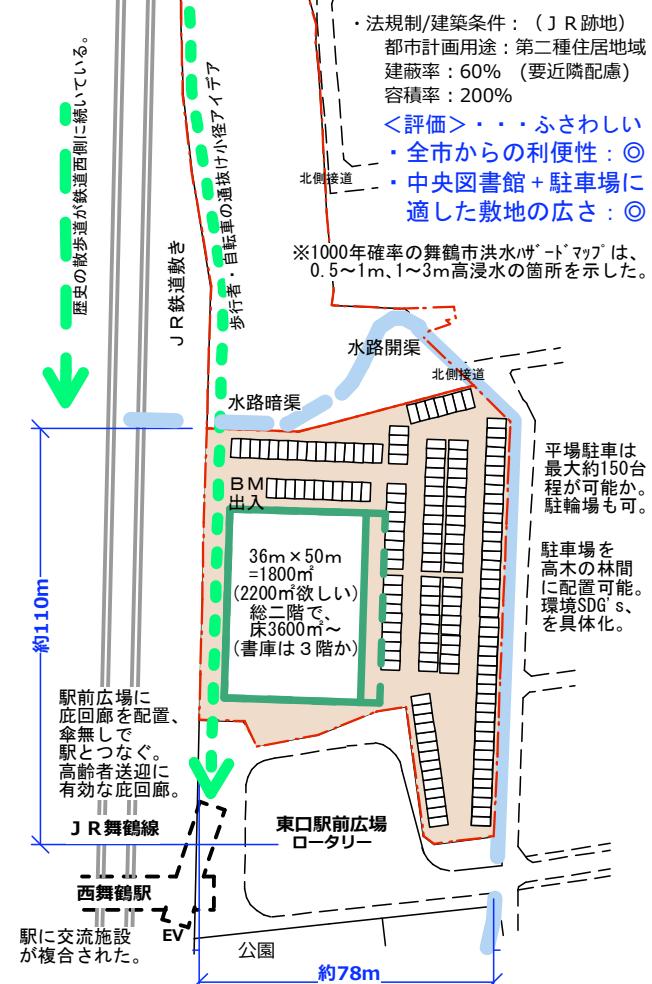
□ 西舞鶴駅/東口の市有地を候補地と考えた場合(1.4ha)

・南側(下図仮定区域)：約8,300m²
外堀(水路)より北側区域：約5,700m²

- ・法規制/建築条件：(JR跡地)
都市計画用途：第二種住居地域
建蔽率：60%（要近隣配慮）
容積率：200%

<評価>・・・ふさわしい
・全市からの利便性：◎
・中央図書館+駐車場に適した敷地の広さ：◎

*1000年確率の舞鶴市洪水ゾーンマップでは、0.5~1m、1~3m高浸水の箇所を示した。



※図書館への市民の声、要望

令和2年11月市民アンケートでは、1,322人の回答と、386件の自由記述意見があり、図書館サービスや施設統合など充実策、駐車場配慮など、全市域的視点からの意見に、刮目すべきものが多くありました。

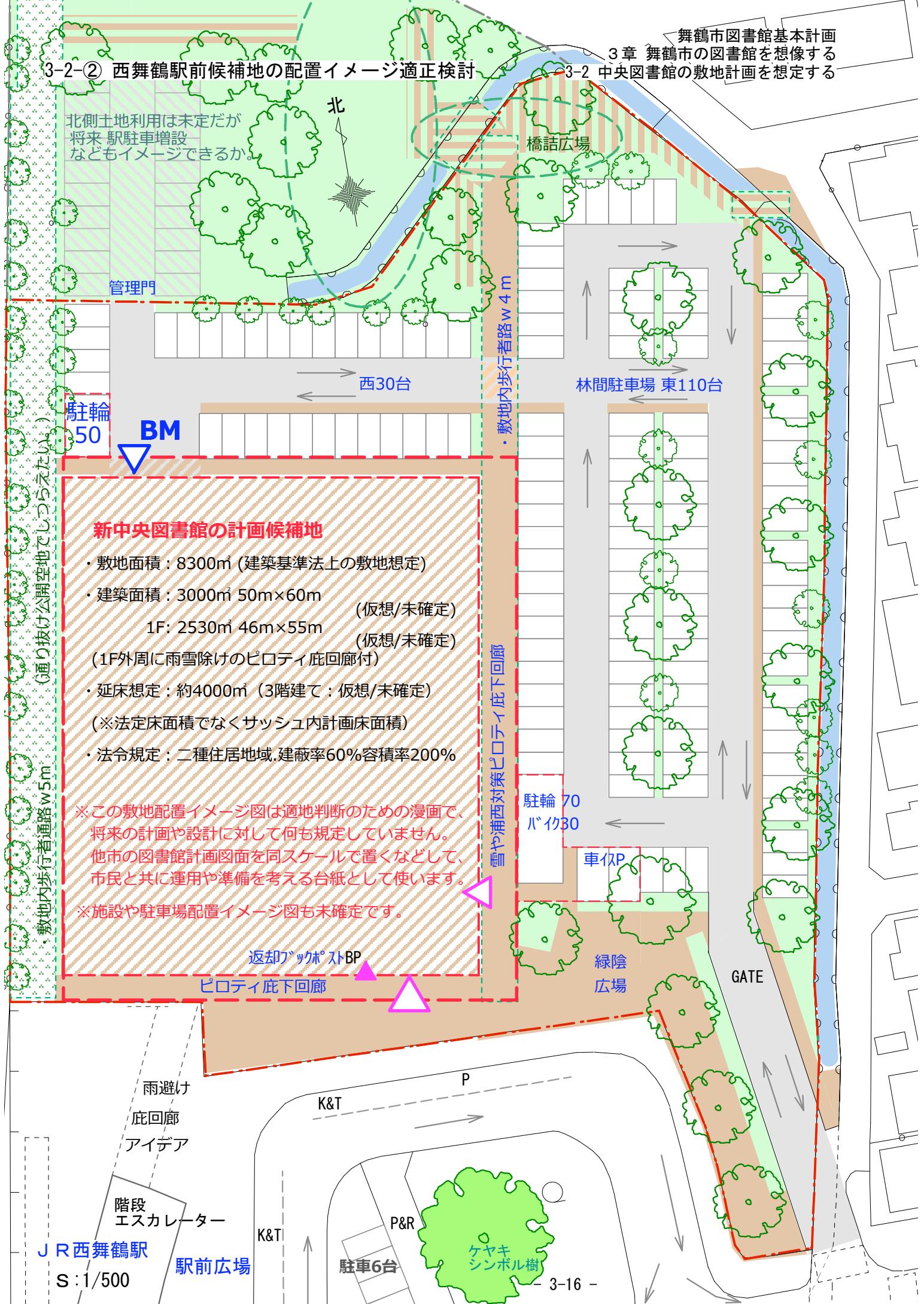
※中央図書館の駐車場規模

現代の図書館で駐車駐輪場は重要。例えば、土日曜一日の中央図書館に人口の5%が来館するとして、その30%市民1170人が3~5時に来館している状況を想像します。その12%が自家用車と仮定すると、140台程の駐車場が望まれます。駅界隈に借地駐車場増設は難しく、駐車待ち道路渋滞回避も必要です。

※中央図書館の建築面積

現代の図書館建築の1階構成は、充分な開架室、全市B M奉仕部門交流域など主機能がワンフロアに(運営職員配置の集約効果もあり)配置されます。隣市宮津市図書館の例でも成人開架は小さめですが、主階は平場の配置で2140m²程度。(トイレ階段共用部を含まぬ面積)下の検討では建築面積1800m²程度の敷地検討ですが、1階床2200m²以上は必要であると考えられます。

3-2-② 西舞鶴駅前候補地の配置イメージ適正検討



3-2-③ 候補地と4都市中央図書館の同スケール比較

東図書館の蔵書構成

	一般書	児童書
0総記	1,454	227
1哲学・宗教	1,991	120
2歴史・地理	6,018	1,183
3社会科学	9,173	1,037
4自然科学	4,811	2,473
5技術・工学	5,174	736
6産業	2,136	504
7芸術	5,577	1,276
8語学	1,096	245
9文学	22,185	9,008
絵本	70	7,261
紙芝居	0	551
参考資料	1,433	206
郷土資料	768	6
開架計	61,886	24,833
閉架	28,588	8,715
合計	124,022	

＜施設概要＞

○施設全体面積 :

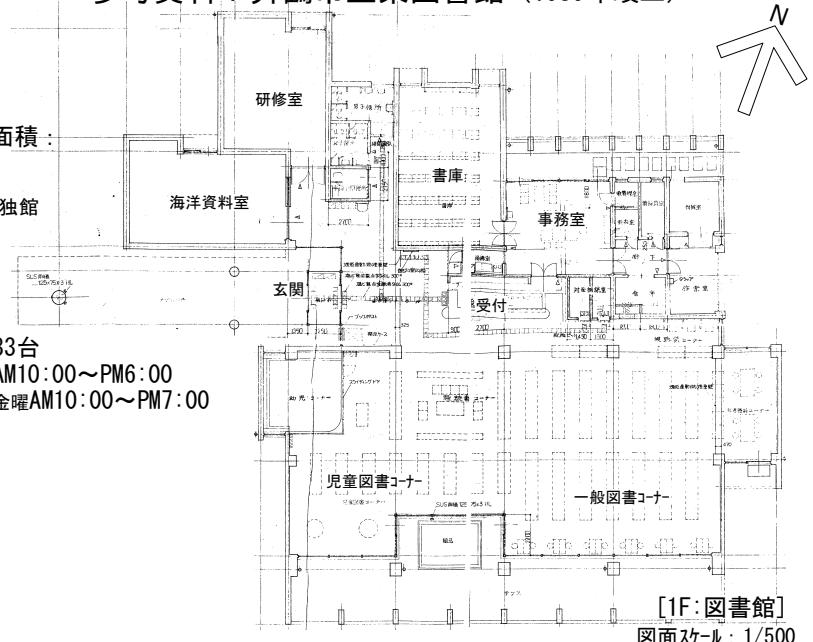
1,014m²

.. 図書館単独館

・駐車場 : 33台

・開館時間 : AM10:00～PM6:00
金曜AM10:00～PM7:00

参考資料：舞鶴市立東図書館（1989年竣工）



西図書館の蔵書構成

	一般書	児童書
0総記	1,354	183
1哲学・宗教	2,169	156
2歴史・地理	5,936	991
3社会科学	7,117	948
4自然科学	3,838	2,210
5技術・工学	4,379	762
6産業	1,432	453
7芸術	4,441	1,189
8語学	1,132	326
9文学	19,676	7,342
絵本	0	6,523
紙芝居	0	606
参考資料	977	135
郷土資料	1,634	1
開架計	54,085	21,825
閉架	31,187	10,764
合計	117,861	

＜施設概要＞

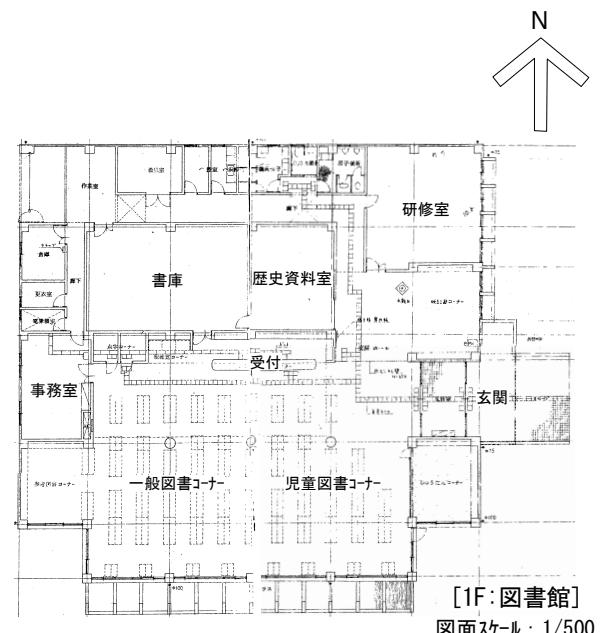
○施設全体面積 : 919m²

.. 図書館単独館

・駐車場 : 18台

・開館時間 : AM10:00～PM6:00
火曜AM10:00～PM7:00

参考資料：舞鶴市立西図書館（1990年竣工）



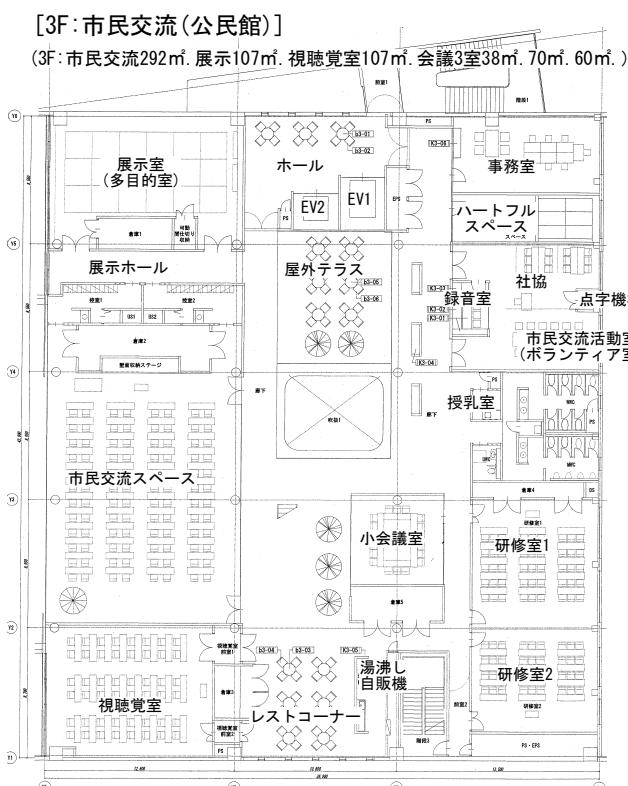
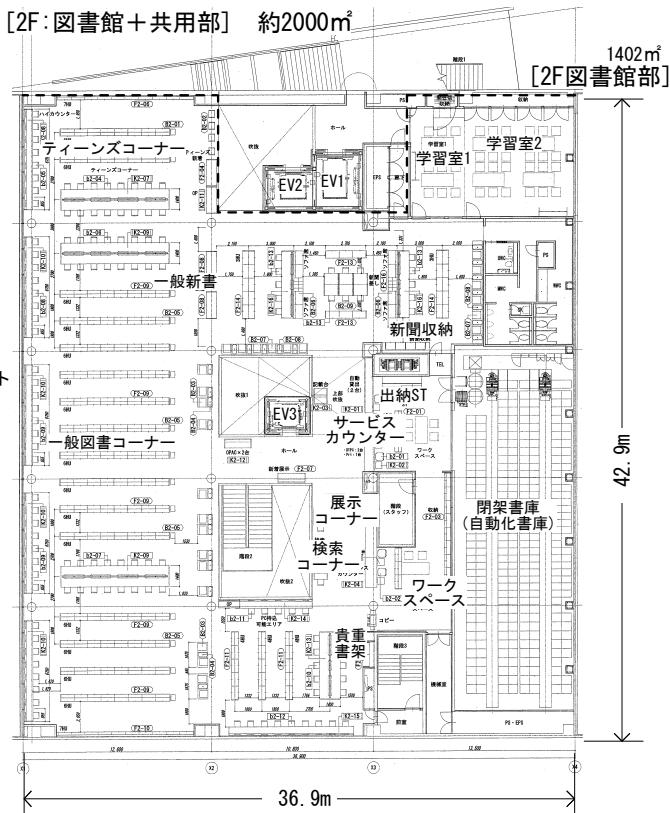
◆ 市民交流プラザふくちやま (2014年竣工)

<施設概要>

○施設全体面積： 6,427m²
 1F建築面積： 2,001m²
 ・ 1, 2F 図書館部ネット： 2,521m²
 (1, 2F 図書館床： 約4,000m²)
 ・ 3, 4F 市民交流プラザ： 3,945m²

○福知山市立中央図書館

○福知山市中央公民館
 ・事業費：建設費： 24億円
 家具/備品： 1.48億円
 図書館システム： 0.35億円
 ・駐車場： 100台。1.5hr以上有料
 駅周辺に有料駐車場多数
 ・開館時間： 平日AM10:00～PM8:00
 休日AM10:00～PM6:00



図面スケール: 1/500

舞鶴市図書館基本計画
3章 舞鶴市の中央図書館を想像する
3-2 中央図書館の敷地計画を想定する

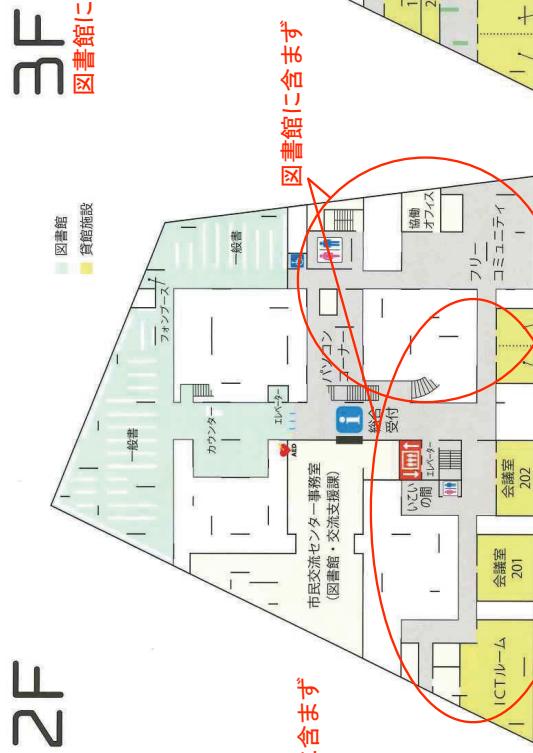
◆ えんぱーく 塩尻市立図書館本館 (2010年竣工)
<塩尻市人口 6.64万人>



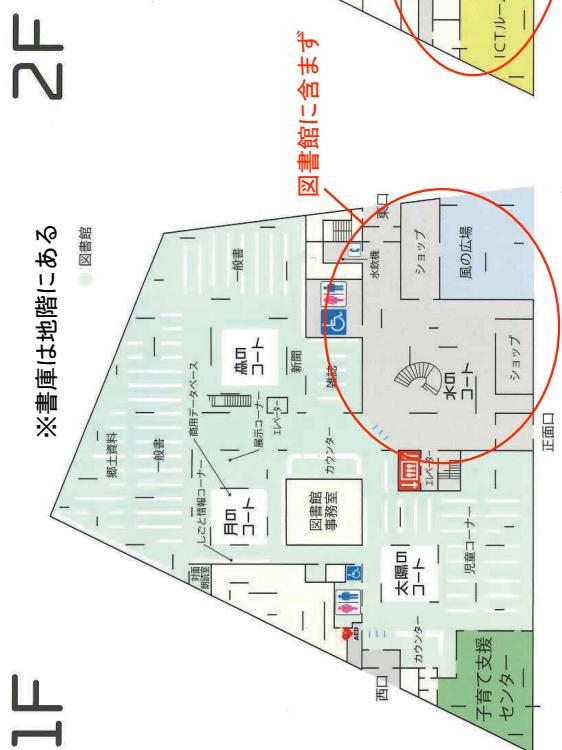
◇施設概要

○施設全体面積 : 11,890m²

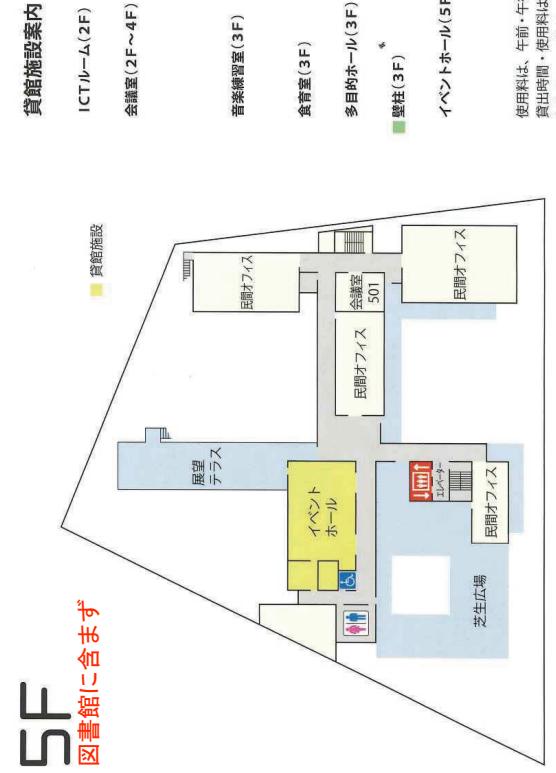
図書館、市民交流センター、事務所、子育て支援センター、店舗の合築
・図書館面積 : 3.289m²(共用部を含まない面積)



フリーコミュニティ
ハブセンター
市民活動拠点などが、打ち合わせ等に使える場所です。
インターネットを使って調べることができます。



明るく広い空間でゆったりと本を読むことができます。
3歳までの親子の交流や、学び合いを応援します。



※出典 : 塩尻市ホームページ
施設規模が大きいため図面スケール : 約 1/1000 展望テラス

使用料は、午前・午後・夜間により異なります。
算出時間・使用料は、使用料金表、またはホームページをご覧ください。
各施設のご予約は、2F総合受付でお申込みください。
プロジェクトコード・展示ホール・ホワイトボード等も貸し出します。
室内はガラスで仕切られていますため、掲示方法に制限がありますので、事前にご相談ください。
詳しくは2F総合受付へお尋ねください。

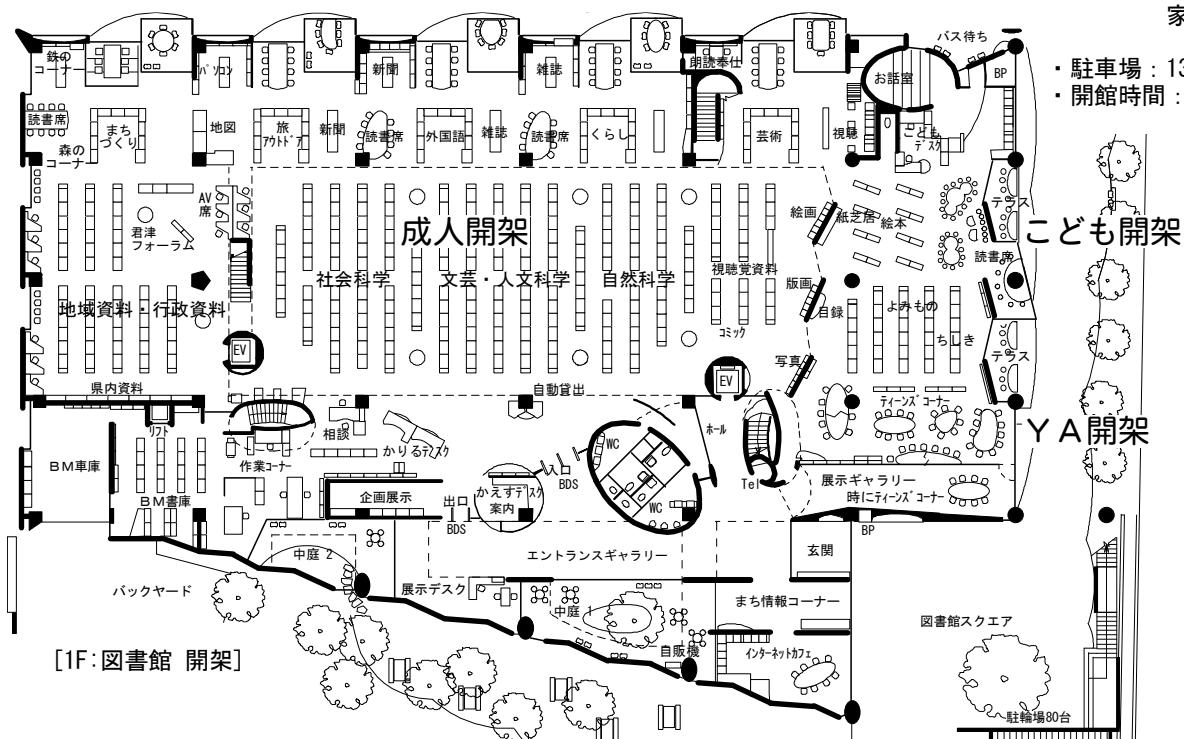
いちごの空間です。建物の断熱性能をあげることにも役立っています。
(天候等により閉鎖することがあります。また、冬期間は常時閉鎖します。)

芝生広場

◆ 君津市立中央図書館 (2002年竣工)

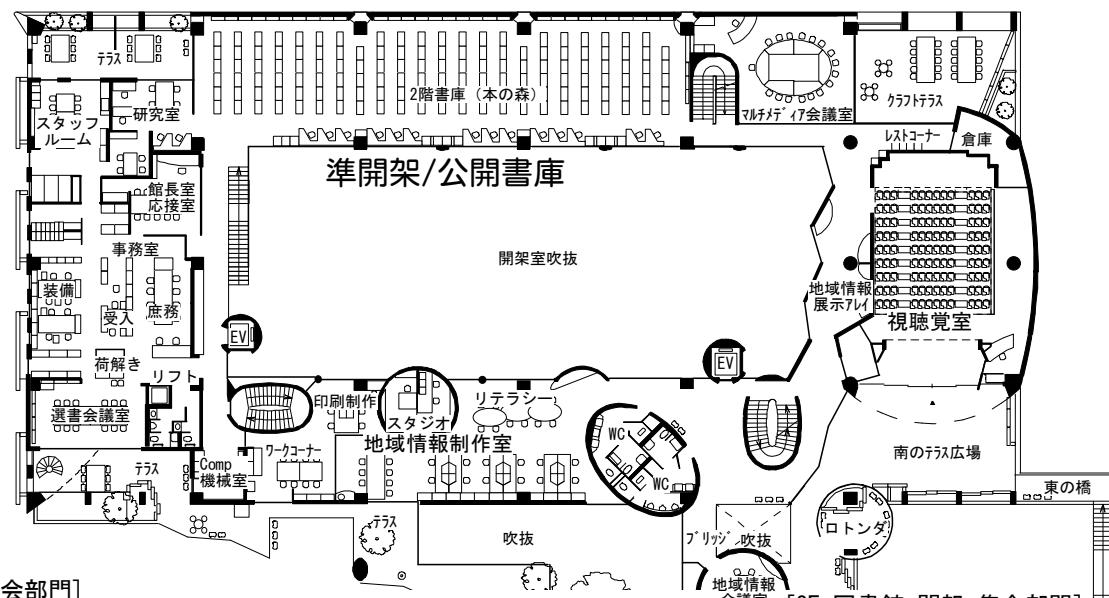
<施設概要>

○施設全体面積 : 4,896m²... 図書館単独館/当初は地域情報センターとの複合(補助金獲得のため)

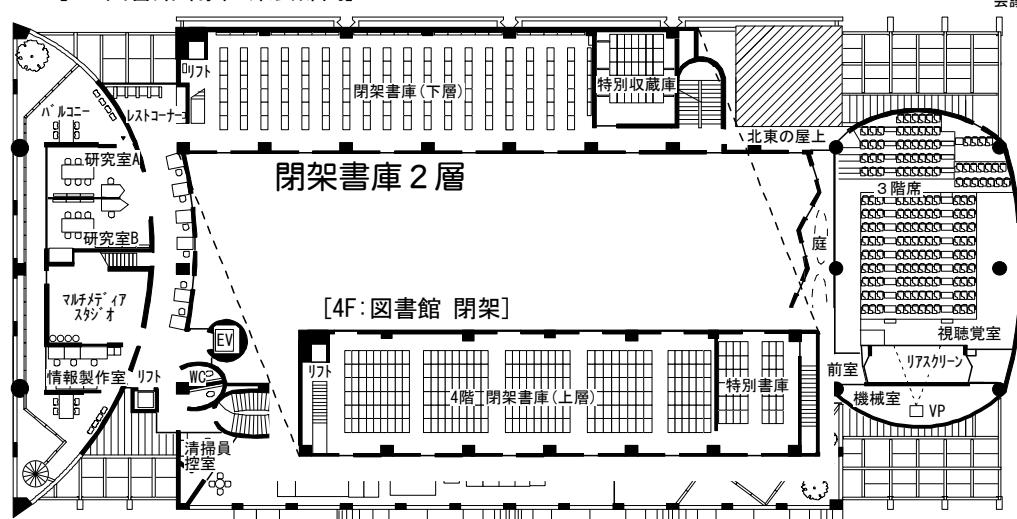


・事業費 : 建設費 : 18.9億円
家具/備品 : 1.3億円

・駐車場 : 131台+112台/他施設共用
・開館時間 : AM10:00~PM6:00
金曜AM10:00~PM7:00



[2F:図書館 開架+集会部門]



図面スケール : 1/500

◆ 南相馬市立中央図書館（2010年竣工）

